

有限会社 豊田あぐりサービス 定款

第1章 総則

(商号)

第1条 当社は、有限会社豊田あぐりサービスと称する。

(本店の所在地)

第2条 当社は、本店を山口県下関市豊田町大字八道601番地3に置く。

(目的)

第3条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. 農林作業の受託並びに委託
2. 水稻、畑作の経営
3. 市民農園の開設運営
4. 地域農林特産品の調査・開発・加工及び販売
5. 実験農場の設置運営
6. 農業施設・機械の受託運営
7. 家畜飼料の生産・収集及び販売
8. 堆肥の生産販売
9. 繁殖牛及び肥育牛の飼育受託
10. 農薬・肥料及び種苗の販売
11. 園芸用花木・鑑賞用植物等園芸品及び同用品の販売
12. 食料品・酒類・清涼飲料水・嗜好飲料及び調味料の販売
13. 手芸品・工芸品及び日用品雑貨の販売
14. タバコ・郵便切手及び収入印紙の販売
15. 観光用土産品の販売
16. 飲食店の経営
17. 交流体験施設・宿泊施設の管理運営
18. 農業用資材及び農業生産物の運搬
19. その他農業公園の景観保全、維持管理
20. 前記各号に付帯する一切の事業

(公告の方法)

第4条 当社の公告は、官報に掲載してする。

第2章 株式

(発行可能株式総数)

第5条 当社の発行可能株式総数は350株とする。

(株券の不発行)

第6条 当社は、株式に係る株券を発行しない。

(株式の譲渡制限)

第7条 当社の株式を譲渡により取得することについて当社の承認を要する。当社の株主が当社の株式を譲渡により取得する場合には当社が承認したものとみなす。

(株主名簿記載事項の変更)

第8条 当社の株式につき株主名簿記載事項の変更を請求するには、所定の請求書に株主と株式取得者が記名押印してする。

2 譲受以外の事由により株式を取得したときは、その事由を証する書面も併せて提出する。

(質権の登録および信託財産の表示)

第9条 当社の株式につき質権の設定または信託財産の表示を請求するには、所定の請求書に当事者が記名押印し提出する。

2 登録または表示の変更および抹消についても同様とする。

(手数料)

第10条 前2条に定める請求をする場合には、所定の手数料を支払わなければならない。

(基準日)

第11条 当社は、営業年度末日の最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主を持って、その営業年度に係わる定時株主総会において権利を行使すべき株主とする。

2 前項のほか、株主または質権者として権利を行使すべき者を確定するため必要があるときは、あらかじめ公告をしてそのための基準日を定めることができる。

(株主等の氏名住所等の届け出)

第12条 株主もしくは登録質権者は、所定の書面により、その氏名・住所および印鑑を当社に届出なければならない。これらに変更があったときも同様とする。

2 届出をしない者に対しては、そのために生じた損害について、当社はその責任を負わない。

第3章 株主総会

(招集)

第13条 当社の定時株主総会は、事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に招集し、臨時

株主総会は必要に応じて招集する。

(議 長)

第14条 株主総会は、社長が議長となる。

2 社長に事故あるときは、他の取締役が議長となる。

(決議の方法)

第15条 株主総会の決議は、法令または定款に別段の定めがある場合を除き、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数をもって行う。

(議決権の代理行使)

第16条 株主は、当会社の議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができる。

2 株主または代理人は、株主総会ごとに代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(株主総会の議事録)

第17条 株主総会における議事の経過の要領およびその結果並びにその他法令に定める事項については、これを議事録に記載または記録する。

第4章 役 員

(取締役及び監査役の員数)

第18条 当社には取締役を2名以上5名以内を、監査役2名以内を置くものとする。

(取締役及び監査役の選任方法)

第19条 当社の取締役及び監査役は株主総会において当社の株主の中から選任する。ただし、必要があるときは株主以外から選任することができる。

2 取締役の選任は、累積投票によらない。

(代表取締役および社長)

第20条 当社は、代表取締役1名を取締役の互選により選定する。代表取締役を社長とする。

(報酬及び退職慰労金)

第21条 取締役の報酬・賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議によりこれを定める。

第5章 計 算

(事業年度)

第22条 当社の事業年度は、毎年4月1日から、翌年3月31日までの年1期とする。

(利益金の処分)

第23条 毎事業年度の利益金は、欠損を補填し、なお残余があるときは、翌年度に繰り越すものとする。

(決算及び監査)

第24条 取締役は、毎営業年度において決算し、営業報告書・財産目録・貸借対照表・損益計算書及び利益処分案又は損失処理案を作成し、株主総会に提出してその承認を受けなくてはならない。

2 前項の場合において、株主総会に提出する前に監査役の監査を受けなくてはならない。

3 監査役は、前項の監査の結果を株主総会に報告しなければならない。

(株主の閲覧)

第25条 当社の株主は、いつでも会計の帳簿及び書類の閲覧又は謄写を請求することができる。

第6章 附 則

(規定外の事項)

第26条 この定款に規定のない事項は、すべて会社法・会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律その他の法令によるものとする。

平成 5年 9月 7日 作成

平成13年 9月 3日 改正

平成14年 3月27日 改正

平成16年 4月26日 改正

平成16年 6月29日 改正

平成17年 5月26日 改正

平成19年 7月23日 改正

平成23年 5月18日 改正

有限会社豊田あぐりサービス 役員名簿

平成28年8月1日現在

役職名	氏名	備考 (所属団体役職名)	勤務形態
1 代表取締役	富永英典		常勤
2 取締役	吉田太一		常勤
3 取締役	中丸徳之		非常勤
4 取締役	飯室茂樹	下関農業協同組合理事 下関市(元豊田総合支所長)	非常勤
5 監査役	山名俊也	下関農業協同組合豊田営農経済支部長	非常勤
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

第23期(平成27年度)事業報告書、貸借対照表
及び損益計算書

有限会社豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 23 期 事 業 報 告 書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

1. 事業経過

豊田あぐりサービスは、豊田地域の農業従事者の高齢化や担い手の減少による農地の荒廃を阻止するため、第 3 セクターとして平成 5 年に設立し、当初、農作業受託を中心に活動を行ってきましたが、平成 18 年から下関市豊田農業公園「みのりの丘」を管理運営する指定管理者として指定を受け、公園施設の管理を通じた雇用の確保と、地域農業振興の一翼を担う使命を有しております。

こうした趣旨を踏まえて様々な業務を行っておりますが、地域農業振興の一翼を担う農作業の受託業務は、地域内に農業生産法人や営農組織の育成が推進されていること、米価が下落基調にあることなどから、稲作の作業受託を中心に減少の傾向にあります。

また、農業公園施設の利用者・来園者数については施設ごとに増減はあるものの、全体的に減少の傾向にあります。要因としては、施設の老朽化や景観、体験メニューに目新しさがないことなどが一因と考えられます。

平成 27 年度の経営状況につきましては、売上高は 190,329 千円で前年比 98%、生産販売に係る経費は 187,081 千円で 95%、経常収支は、売上高は減少したものの経費削減に努めた結果、4,810 千円のプラス決算となりました。

税引き後の純利益は、全体としてプラス 4,634 千円となりました。

このうち、指定管理業務に係る収支については、3,666 千円のマイナス決算となっております。

要因としては、①電力費の削減、②燃料単価の下落、③無人ヘリ防除業務の材料費の削減、④果樹の売上高の増加、⑤加工体験の人件費削減、⑥長期宿泊施設の利用者の増加、さらに⑦大豆の受託業務の拡大などが大きく影響したものと思われます。

反面、食材館業務の販売額は、32,542 千円で前年比 88%、生産販売に係る経費が 31,162 千円で前年比 92%、経常利益は 1,383 千円で前年比 40%となりました。

要因として、①「商品仕入れ販売」から「委託販売」に切り替えたこと、②「そば」の原料価格が高騰し、材料費が大幅にアップしたことが主な原因と思われます。

また、消費税について、平成 26 年度に購入・長期リースした機械について、当該年度に一括計上したことから 4,443 千円の前年比 181%となり大きなマイナスの要因となりました。

2. 部門別の実績

(1) 一般管理（公園管理含む）

一般管理費については、前年に引き続き、広告宣伝費の削減をはじめ、各契約内容や契約業者の見直しなどにより管理経費の削減に努めました。

人件費については従業員1名減、パート1名減の中で、各部門間の労働調整などにより労働配分の適正化に努めました。

各業務で使用する車両・農機などについて、免許取得・講習会に積極的に参加し、機械操作技能・労働安全性の向上と労働環境の改善に努めました。

また、若手従業員について、「新規就農定着促進事業」(県事業)の研修制度に取り組み各業務のレベルアップに努めました。

公園内の景観を保つため、花壇の花の植栽や植込みの剪定、小まめな草刈りを行いました。しかしながら、経費節減のため専門業者に管理委託しなかったこともあり細やかな管理が行き届かなかったことは否めません。

また、公園内施設については、長期ログハウスや遊具の補修を行い、利用者へのサービス向上と利用の安全に努めました。

(2) 農作業受託

稲作を中心とした普通作物の作業受託状況は、農業生産法人や営農組織の増加に加えて、稲作面積の減少などにより減少傾向にあります。

田植えは6.0haで前年比113%、水稻苗の配達は14,845箱(74.2ha相当)で前年比90%、稲刈りは28.5ha(48戸)で前年比89%、その他耕起・代かきは0.6ha受託しました。

大豆は、中耕・刈取り・乾燥調製作業を中心に受託業務を行いました。

収穫作業は黒大豆(のんたぐろ)・白大豆(サチユタカ)の合計26.2haで前年比124%となりました。乾燥調製は、他地区からの受託も積極的に受け入れましたが、25.8tの処理量にとどまり、前年比78%となりました。要因として、他地区の収穫作業を受け面積は拡大したものの、刈取り時期の天候不順による適期作業の遅れや作柄が悪く、収穫量の減少が大きかったものと思われます。

そばは、播種・刈取り・乾燥調整作業を受託し、面積は0.7haで前年より若干増加しました。

たまねぎは、公園内に前年より0.1ha少ない0.2haを定植し、5.3tを収穫、前年比66%となりました。販売は、学校給食をはじめ、豊田の道の駅、JAの「いただきマーケット」、公園内の売店で、5月から10月まで長期に販売しました。また、たまねぎ収穫体験も行い40組が体験されました。

受託作業は、平成27年の10月から豊浦・菊川地区を含め0.7haの畦立て作業を行い、また、公園内に0.2haの作付けを行いました。生育は順調に推移しております。

(3) 無人ヘリ農薬散布

平成27年度に弊社が行った水稻の防除面積は、出穂前、出穂後の延べ面積305.3haで、前年比119%と大幅に増加しました。要因としては、オペレーターの養成ができたことが大きいと思われます。しかしながら、市内全体の受託面積は2,613haで、前年より11ha減少しました。

また、平成27年度から「ゴルフ場」の松くい虫防除に参加し、20haの防除を行いました。

(4) 堆肥センター

施設の利用状況は、2戸1法人から原材料672tが搬入され、前年比113%となりました。しかしながら、販売量は99.9tで前年比89%となりました。

要因は、畜産農家の減少と耕種農家の高齢化や米価の下落による土づくりの意欲減退によるものと思われます。

ミネラル散布は、前年度に米価の下落などの影響があったものの散布面積9.5haで前年比167%となりました。

(5) ライスセンター

コメの作況は8月中旬から9月上旬の低温と天候不順により収量・品質ともに低下し、特に晩生種は成熟が遅れ、作況は97%にとどまりました。

ライスセンターの利用状況は、53戸、処理量167t(29.8ha相当)で前年比96%にとどまりました。

(6) 温室ハウス

ハウレンソウ栽培は、経営圧迫要因であるため栽培を休止しましたが、固定電気代やハウス補修費などにより、653千円のマイナスとなりましたが、赤字幅は前年より64%削減されました。

トマト栽培は、9月定植の翌年7月まで収穫の周年栽培を行っておりますが、栽培後半の樹勢が落ちるため、根張りの良い台木に変更し苗本数を増加しましたが、ハウスの雨漏りにより病気が発生、樹勢が急激に落ち込み、収穫量は3.2tで前年比94%となりました。反面、販売額は2,776千円で前年比110%となりました。この結果、経常赤字は413千円で前年より10%削減されました。

イチゴ栽培は、昨年の反省から、床土の入替えと液肥改良を行うとともに、新たな管理体制により、収量はイチゴ狩りを含め、1.7tで前年比270%、販売額も1,779千円で前年比178%となりました。反面、経常赤字は2,100千円で、前年より37%増加しました。要因は、ハウスの補修、設備の改良費と市場出荷のための製品調整・パック詰めに労力を要したことによるものです。

また、ハウス全体が老朽化しており、環境制御装置や被覆材の補修を行いました。

(7) 果樹

梨栽培は、収穫量は前年より12%減の39.4tになり、梨狩り入園者数は2,738人で、前年より3%減少しました。

販売額は、梨狩りを含め、前年比122%で9,574千円となり、経常利益は前年比180%で4,054千円になりました。

要因は、着果不足がみられたものの、玉太りが良く単価が高かったこと、カメムシの発生が少なく商品化率が向上したこと、摘果、袋かけ、防除に係る人件費が削減できたことなどがあげられます。

ぶどう栽培では、平成22年の雪害が尾を引いており、順次補植を行っていますが、

獣害もあり対応に苦慮しています。そうした中で樹勢の回復も見られ、前年よりやや増の88kgの収穫となりました。

桃・すももは2割程度収穫量が増加し、その他果樹もわずかながら増加しております。販売額も4割程度増加し697千円となりました。

(8) 地域食材供給施設

物販施設の来客数は、年々増加傾向にあり、25,359人で、前年比103%となりました。反面、販売額については約2割減の15,437千円にとどまりました。要因は、仕入れ販売から委託販売に切り替えたため、商品仕入れ額とともに減少したこと、そばの原材料が高騰したことなどによるものです。

また、トマトによる集客力は依然強いものの、消費税増税の影響から1人当たり購買意欲が戻っていないものと思われまます。

食堂施設の来客数は、14,121人で前年比99%、販売額は14,287千円で96%となりましたが、「そば」はもちろん、ジビエを使ったメンチカツや園内・地元果実を使った「桃リキュール」、「リンゴジュース」を開発し、集客や売上げに貢献しました。

アイスの生産販売については前年よりやや減少しておりますが、豆腐の生産販売については、菊川「ふるさと市」での販売を始めたことから増加しております。

食材館全体の販売額は32,542千円で前年比88%で、生産・販売に係る経費は31,162千円の前年比92%で、経常利益は1,383千円で前年比40%となりました。

(9) 精米・製粉施設

精米製粉は、豊田町民・地元加工団体などからの利用が多く、製粉は96件、1.8tの処理を行い、精米は356件、処理量50.2tとなり、精米・製粉全体でみると利用者数は前年比111%、処理量は110%となっております。

(10) 体験・都市農村交流

農業・加工体験は、参加人数1,474人で前年比106%でしたが、参加料収入は前年比95%で1,049千円となりました。

長期宿泊施設は、4棟全て利用があったため利用料収入は、前年比178%の1,265千円となりました。

短期宿泊施設は、利用者数は852人で、前年比130%となりました。利用料収入は1,079千円で前年比136%になりました。年間通じて増加しておりますが、特に夏休み中の天候に恵まれたことが影響していると思われまます。

(11) 肉用牛繁殖育成施設

現在の飼養状況は、肉用繁殖牛24頭、育成・子牛が15頭の計39頭を飼育しております。今年度の市場への出荷頭数は、子牛15頭、成牛1頭の計16頭で、前年より1頭の減、販売額は前年比116%の9,508千円となりました。要因は、出荷までの飼養管理の改善により評価が上がったこと、子牛不足から購買意欲が高く、販売単価も高く推移したことによるものと考えられます。

(12) 田園空間博物館施設

田園空間博物館施設の清流館は、182件、4,419人の利用があり、前年比109%となっております。

3. 事業成績の推移

(単位：円)

年 度 (期)	24年度 (第20期)	25年度 (第21期)	26年度 (第22期)	27年度 (第23期)
売 上 高	200,002,443	202,607,347	194,252,669	190,328,809
当期純利益	△11,274,446	1,954,837	△1,065,546	4,634,367

第 23 期

決 算 報 告 書

平成27年 4月 1日から

平成28年 3月31日まで

有限会社 豊田あぐりサービス

(法人番号:5250002012286)

貸借対照表

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

代表者 上川 正昭

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流動資産	(23,135,207)	I 流動負債	(14,456,868)
現金及び預金	10,378,728	未払金	11,024,719
な掛卸資産	1,316,772	未払法人税等	182,500
未収入当金	11,416,117	未払消費税	3,226,600
貸倒引当金	30,590	預り金	23,049
	△ 7,000		
II 固定資産	(28,649,250)	II 固定負債	(24,226,219)
有形固定資産	(27,722,445)	長期借入金	11,407,269
構築物	3,953,643	長期未払金	12,818,950
機械及び装置	9,595,569		
建物	6		
構築物	7		
車両運搬具	12,080		
工具、器具及び備品	1,463,883		
リース資産	12,697,257		
無形固定資産	(227,864)		
電話加入権	227,864		
投資その他の資産	(698,941)	負債の部合計	38,683,087
投資有価証券	500,000	(純資産の部)	
長期前払費用	78,000	I 株主資本	(13,101,370)
	120,941	1. 資本金	15,300,000
		2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(△ 2,198,630)
		(1) その他利益剰余金	(△ 2,198,630)
		別途積立金	50,000
		繰越利益剰余金	△ 2,248,630
III 繰延資産	(0)	II 評価・換算差額等	(0)
		III 新株予約権	(0)
資産の部合計	51,784,457	純資産の部合計	13,101,370
		負債・純資産の部合計	51,784,457

損益計算書

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月31日まで

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上 上 高 作 業 上 高 指 定 管 理 等 収 入	65,995,424 112,488,385 11,845,000	190,328,809	190,328,809
II 売 上 原 価 期 首 た な 卸 商 品 仕 入 当 期 作 業 原 合 他 勘 定 振 替 期 末 上 総 卸 売 利 益	11,062,484	1,019,409 11,062,484 136,220,484 148,302,377 484,038 1,584,092	146,234,247 44,094,562
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 営 業 外 収 益		40,846,398	40,846,398 3,248,164
IV 営 業 外 収 益 受 取 配 当 金 入		2,753 780 2,309,565	2,313,098
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息 割 引 料 失		427,393 324,000	751,393
経 常 利 益			4,809,869
VI 特 別 利 益 貸 倒 引 当 金 戻 入		7,000	7,000
VII 特 別 損 失 固 定 資 産 売 却 原 価 固 定 資 産 除 却 損		1 1	2
税 引 前 当 期 純 利 益 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益		182,500	4,816,867 182,500 4,634,367

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給 与	13,263,054
旅 費	1,514,244
広 告	22,627
容 器	1,800,788
支 払	17,658
役 員	5,318,600
事 務	1,827,665
従 業	720,002
法 定	4,388,141
福 利	159,150
減 価	211,679
地 代	947,355
事 務	478,500
通 信	713,880
租 税	4,806,809
接 待	6,140
備 品	1,110,868
貸 倒	7,000
雑 費	3,532,238
合 計	40,846,398

たな卸資産の計算内訳

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	1,270,207
製 品	1,227,508
仔 牛	2,633,382
原 材	5,497,666
仕 掛 品 (半 成 品)	592,269
貯 蔵 品	195,085
合 計	11,416,117

作業原価報告書

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				金 額
I 材	料		費	
期首	材	料	棚卸	5,967,832
材	料	仕	入	45,425,435
合			計	51,393,267
期	末	材	棚卸	5,497,666
当	期	材	料	45,895,601
			費	
II 勞		務	費	
雇	用	人	費	19,383,153
当	期	勞	務	19,383,153
			費	
III 經			費	
作	業	委	託	45,187,881
電		力	費	6,093,592
水		道	代	84,660
燃		料	費	4,127,738
荷	造	運	賃	163,052
減	価	償	却	6,515,798
保	守	修	繕	7,001,683
機	械	賃	借	631,959
保		賃	料	1,376,479
借		地	料	49,000
雜			費	992,443
当	期	經	費	72,224,285
当	期	總	業	137,503,039
期	首	仕	掛	3,051,804
合			計	140,554,843
期	末	仕	掛	4,334,359
当	期	作	業	136,220,484
			原	
			価	

株主資本等変動計算書

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

平成27年 4月 1日から

平成28年 3月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資 本	金	当期首残高	15,300,000
		当期変動額	<u>0</u>
		当期末残高	<u>15,300,000</u>
2. 利 益 剰 余 金			
(1) その 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金		当期首残高	50,000
		当期変動額	<u>0</u>
		当期末残高	<u>50,000</u>
繰 越 利 益 剰 余 金		当期首残高	△ 6,882,997
		当期変動額	
		当期純利益	<u>4,634,367</u>
		当期末残高	<u>△ 2,248,630</u>
その 他 利 益 剰 余 金 合 計		当期首残高	△ 6,832,997
		当期変動額	
		当期純利益	<u>4,634,367</u>
		当期末残高	<u>△ 2,198,630</u>
株 主 資 本 合 計		当期首残高	8,467,003
		当期変動額	
		当期純利益	<u>4,634,367</u>
		当期末残高	<u>13,101,370</u>
II 評価・換算差額等		当期首残高	0
		当期変動額	<u>0</u>
		当期末残高	<u>0</u>
III 新株予約権		当期首残高	0
		当期変動額	<u>0</u>
		当期末残高	<u>0</u>
純資産の部合計		当期首残高	8,467,003
		当期変動額	
		当期純利益	<u>4,634,367</u>
		当期末残高	<u>13,101,370</u>

第23期 収支決算内訳書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出			収支 (A)-(B)
	予算額	決算額(A)	摘要	予算額	決算額(B)	摘要	
一般管理	7,583,000	7,859,402		22,500,000	26,678,358		△18,818,956
指定管理業務	6,383,000	6,377,130	指定管理料 6,375,000 施設利用料等 2,130	8,300,000	11,383,803	指定管理 11,383,803	
自主事業 受託作業	1,200,000	1,482,272	雑入等 1,482,272	14,200,000	15,294,555	人件費等 15,294,555	
農作業受託	13,300,000	13,414,180		10,200,000	9,651,969		3,762,211
受託作業	13,300,000	13,414,180	水稲作業料 7,705,175 大豆等作業料 5,709,005	10,200,000	9,651,969	水稲作業 3,094,569 大豆等作業 6,557,400	
無人ヘリ農業散布	96,500,000	93,003,154		87,000,000	80,950,607		12,052,547
受託作業	96,500,000	93,003,154	農業散布料 93,003,154	87,000,000	80,950,607	農業散布 80,950,607	
堆肥センター	2,460,000	3,396,598		4,200,000	1,834,384		1,562,214
指定管理業務	710,000	742,720	指定管理料 400,000 施設利用料 342,720	2,300,000	1,084,645	指定管理 1,084,645	
自主事業	1,750,000	2,653,878	堆肥販売等 2,653,878	1,900,000	749,739	堆肥製造等 749,739	
ライスセンター	7,300,000	7,333,301		4,900,000	3,710,430		3,622,871
指定管理業務	5,800,000	5,761,397	施設利用料 5,761,397	3,200,000	2,672,824	指定管理 2,672,824	
自主事業	1,500,000	1,571,904	運搬・資材 1,571,904	1,700,000	1,037,606	運搬・資材 1,037,606	
温室ハウス	5,600,000	4,554,735		8,000,000	7,721,138		△3,166,403
指定管理業務							
自主事業	5,600,000	4,554,735	苺・トマト 4,554,735	8,000,000	7,721,138	農産物生産 7,721,138	
果樹	7,900,000	10,350,931		6,200,000	6,649,077		3,701,854
指定管理業務							
自主事業	7,900,000	10,350,931	梨等 10,350,931	6,200,000	6,649,077	農産物生産 6,649,077	
地域食材供給	36,900,000	32,544,963		33,800,000	31,161,667		1,383,296
指定管理業務				200,000	204,768	指定管理 204,768	
自主事業	36,900,000	32,544,963	竹膳 14,289,405 物販 18,255,558	33,600,000	30,956,899	竹膳 13,874,537 物販 17,082,362	
精米・製粉	1,270,000	1,499,307		1,100,000	1,250,465		248,842
指定管理業務	1,270,000	1,499,307	指定管理料 370,000 施設利用料 1,129,307	1,100,000	1,250,465	指定管理 1,250,465	
自主事業							
体験・農村交流	5,200,000	5,958,438		6,000,000	4,750,459		1,207,979
指定管理業務	4,000,000	4,687,867	指定管理料 2,000,000 施設利用料等 2,687,867	2,800,000	3,881,896	指定管理 3,881,896	
自主事業	1,200,000	1,270,571	体験料等 1,270,571	3,200,000	868,563	体験等 868,563	
肉用牛繁殖育成	9,100,000	10,075,713		8,900,000	10,732,495		△656,782
指定管理業務	100,000	100,000	指定管理料 100,000	100,000	2,090,842	指定管理 2,090,842	
自主事業	9,000,000	9,975,713	子牛販売等 9,975,713	8,800,000	8,641,653	肉用牛飼養 8,641,653	
田園空間博物館	2,660,000	2,651,585		2,600,000	2,916,891		△265,306
指定管理業務	2,660,000	2,651,585	指定管理料 2,600,000 施設利用料 51,585	2,600,000	2,916,891	指定管理 2,916,891	
自主事業							
合計	195,773,000	192,642,307		195,400,000	188,007,940		4,634,367
指定管理業務	20,923,000	21,820,006	指定管理料 11,845,000 施設利用料等 9,975,006	20,600,000	25,486,134	指定管理 25,486,134	
自主事業 受託作業	174,850,000	170,822,301	自主事業 受託作業 170,822,301	174,800,000	162,521,806	自主事業 受託作業 162,521,806	

利益金処分

I	当期純利益	4,634,367	円
II	前期繰越利益剰余金	△ 6,882,997	円
III	次期繰越利益剰余金	△ 2,248,630	円

平成28年 5月20日

有限会社豊田あぐりサービス
代表取締役 上川正昭

監 査 報 告 書

有限会社 豊田あぐりサービス
代表取締役 上 川 正 昭 様

有限会社 豊田あぐりサービス の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第23期事業年度の貸借対照表、損益計算書及び会計帳簿は、定款に従い財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

平成28年5月9日

有限会社 豊田あぐりサービス
監査役 山 名 俊 也

第24期(平成28年度)事業計画及び収支計画書

有限会社豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 24 期 事 業 計 画 書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

1. 計画の概要

今年度から 5 年間、「みのりの丘」公園ほか 5 施設の指定管理業者として指定を受けましたので、引き続き指定管理業務の内容に沿って施設管理に努めてまいります。

また、経営の健全化を図るため、より一層経費の削減に努めるとともに、各施設を活用した農畜産物の生産や販売力の向上と併せ、経営の効率化と経営体質の強化に向けて努力してまいります。

以下、各部門について今年度の取組計画をお示しします。

2. 各部門の計画

(1) 一般管理（公園管理含む）

- ①各部門間の労働配分を見直し、労働の平準化と効率的な業務体制の強化に努める。
- ②各指定管理施設の保守管理契約の見直しや、自主事業の見直しにより経費削減に努める。
- ③若手従業員の農業技術向上と継続的な就農体制を整えるため社内研修事業（新規農業就業者定着促進事業）に引き続き取り組む。
- ④オペレーターの資質向上と安全性、並びに各作業機械のメンテナンス技術の習得を図るため、積極的に研修・講習会に参加する。
- ⑤従業員の意欲向上と定着化を図るため、退職金制度を施行する。
- ⑥定期的に除草、剪定を行うなど、気持ち良く公園で家族が遊び、自然と触れ合えるよう景観保全に努める。

(2) 農作業受託

- ①作業受託の内容や作業料金について積極的に PR し、受託作業の拡大に努める。
- ②稲作について、防除、収穫、乾燥調製作業を中心に各種作業受託を進める。
- ③大豆については収穫・乾燥調製作業受託を中心に、他地区からの作業も積極的に受託する。また、適期刈取りを円滑に行うため各生産団体との事前調整を十分に行う。
- ④麦について、防除作業を中心に、無人ヘリによる受託業務の拡大に努める。
- ⑤ソバは転作奨励金が減額されたことから作付けが少なくなり、受託作業も減少しているが、食材館でも必要なことから、公園内や対象水田を中心に栽培を行う。

⑥たまねぎは、定植機や収穫調整機を平成 22 年度に補助事業で導入した経緯もあり、作業受託を積極的に行えるよう関係機関・団体と十分調整する。昨年、公園内に収穫体験用、出荷用として 20 アール定植したものについて、早期に市場出荷し、その収支状況により、平成 28 年秋の定植を中止する。

(3) 無人ヘリ農業散布

昨年、オペレーターを 1 人養成し、4 人体制になったことから、水稻だけでなく麦・大豆を含め実施面積拡大に努める。また、防除業務だけでなく、他用途米の直播、除草剤散布などの活用について関係機関と協力し研究する。

(4) 堆肥センター

- ①畜産農家が減少し、利用者が減少する中で、環境保全のため、利用促進に努める。
- ②堆肥販売単価の見直しにより販売額の拡大に努める。
- ③経年劣化により補修が必要な設備について補修し、作業の効率化を図る。

(5) ライスセンター

- ①大豆については、作業受託部門と連携し適期刈取りにより搬入水分を低く抑え光熱水費と燃料費の削減に努める。他地区からの委託も積極的に対応する。
- ②作業の安全性の確保と労働配分の適正化を図る。
- ③経年劣化により補修が必要な設備について補修を行い、作業の効率化に努める。

(6) 温室ハウス

①サラダほうれん草

- ・経年劣化による施設の補修が必要なこと、効率的な調整・出荷作業方法の検討が必要なため、昨年同様、栽培を休止する。

②トマト

- ・人気品種の「フルティカ」の栽培後半の樹勢確保のため栽培方法について関係機関と連携し、品質の平準化と生産量の増加に努める。
- ・病気の発生防止のため、ハウスの雨漏り対策を検討する。
- ・高糖度トマト生産を行っているため、販売価格の見直しを行う。

③イチゴ

- ・昨年の反省を踏まえ、花芽分化のムラが発生しないよう育苗管理を徹底する。
- ・出荷調整の人件費削減のため、市場出荷から「イチゴ狩り」にシフトする。

(7) 果樹

①梨

- ・摘果・袋かけ作業を徹底し、大玉で品質の良い梨生産に努め、前年並みの収量と「梨狩り」来場者の確保に努める。

②ぶどう

- ・補植はほぼ終了したため、獣害に注意し初期生育に努める。

・平成22年に雪害に遭ったほ場で、試験的に「ぶどう狩り」を行う。

③桃・すもも・ブルーベリー

・桃・すももは木が大きくなっており、前年以上の収穫を目指す。カラスや他の鳥類被害が多く、対策を検討する。

・ブルーベリーは木が小さく、安定した生産は望めないが、食彩館と連携し有効活用する。

(8) 地域食材供給施設

ジビエを使った新たな竹善メニューの開発や、園内や地域の果樹を利用した加工品開発と販売により、新たな集客に努める。

(9) 精米・製粉施設

リピーターの確保と新規依頼者の確保のため、依頼者の意見を十分に把握し、利用の拡大に努める。

(10) 体験・都市農村交流

①加工体験については、引き続き、そば、豆腐づくり体験を中心に行う。また、体験料の見直しを行い、部門収支の改善に努める。

②農業体験については、収穫体験に特化する。

(11) 肉用牛繁殖育成施設

①牛の繁殖について、人工授精師の養成が出来たことから、これまでの委託受精から自家受精に切り替え、繁殖率の改善と経費削減に努める。

②各成牛の繁殖計画を作成し、効率的な受精・受胎に努める。

③公園内の未利用地を有効活用して、粗飼料を確保するとともに、放牧景観の施設整備について検討する。

④耕種農家と連携し粗飼料の確保と将来的な増頭に向けて「畜産クラスター事業」の取組について検討する。

第24期 収支計画書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出			収支 (A) - (B)
	前年度 決算額	本年度 予算額(A)	摘要	前年度 決算額	本年度 予算額(B)	摘要	
一般管理	7,859,402	7,422,000		26,678,358	26,262,000		△18,840,000
指定管理業務	6,377,130	7,297,000	指定管理料 7,295,000 施設利用料等 2,000	11,383,803	9,787,000	指定管理 9,787,000	
自主事業 受託作業	1,482,272	125,000	雑入等 125,000	15,294,555	16,475,000	人件費等 16,475,000	
農作業受託	13,414,180	13,700,000		9,651,969	9,800,000		3,900,000
受託作業	13,414,180	13,700,000	水稲作業料 7,700,000 大豆等作業料 6,000,000	9,651,969	9,800,000	水稲作業 3,100,000 大豆等作業 6,700,000	
無人ヘリ農薬散布	93,003,154	93,500,000		80,950,607	84,000,000		9,500,000
受託作業	93,003,154	93,500,000	農薬散布料 93,500,000	80,950,607	84,000,000	農薬散布 84,000,000	
堆肥センター	3,396,598	2,750,000		1,834,384	2,200,000		550,000
指定管理業務	742,720	250,000	指定管理料 施設利用料 250,000	1,084,645	1,000,000	指定管理 1,000,000	
自主事業	2,653,878	2,500,000	堆肥販売等 2,500,000	749,739	1,200,000	堆肥製造等 1,200,000	
ライスセンター	7,333,301	7,200,000		3,710,430	3,600,000		3,600,000
指定管理業務	5,761,397	5,700,000	施設利用料 5,700,000	2,672,824	2,600,000	指定管理 2,600,000	
自主事業	1,571,904	1,500,000	運搬・資材 1,500,000	1,037,606	1,000,000	運搬・資材 1,000,000	
温室ハウス	4,554,735	4,800,000		7,721,138	8,000,000		△3,200,000
指定管理業務							
自主事業	4,554,735	4,800,000	苺・トマト 4,800,000	7,721,138	8,000,000	農産物生産 8,000,000	
果樹	10,350,931	9,500,000		6,649,077	7,300,000		2,200,000
指定管理業務							
自主事業	10,350,931	9,500,000	梨等 9,500,000	6,649,077	7,300,000	農産物生産 7,300,000	
地域食材供給	32,544,963	33,000,000		31,161,667	30,700,000		2,300,000
指定管理業務				204,768	0		
自主事業	32,544,963	33,000,000	竹膳 14,400,000 物販 18,600,000	30,956,899	30,700,000	竹膳 13,900,000 物販 16,800,000	
精米・製粉	1,499,307	1,440,000		1,250,465	1,100,000		340,000
指定管理業務	1,499,307	1,440,000	指定管理料 300,000 施設利用料 1,140,000	1,250,465	1,100,000	指定管理 1,100,000	
自主事業							
体験・農村交流	5,958,438	4,650,000		4,750,459	4,650,000		0
指定管理業務	4,687,867	3,450,000	指定管理料 1,250,000 施設利用料等 2,200,000	3,881,896	3,800,000	指定管理 3,800,000	
自主事業	1,270,571	1,200,000	体験料等 1,200,000	868,563	850,000	体験等 850,000	
肉用牛繁殖育成	10,075,713	10,700,000		10,732,495	10,700,000		0
指定管理業務	100,000	100,000	指定管理料 100,000	2,090,842	100,000	指定管理 100,000	
自主事業	9,975,713	10,600,000	子牛販売等 10,600,000	8,641,653	10,600,000	肉用牛飼養 10,600,000	
田園空間博物館	2,651,585	2,950,000		2,916,891	2,800,000		150,000
指定管理業務	2,651,585	2,950,000	指定管理料 2,900,000 施設利用料 50,000	2,916,891	2,800,000	指定管理 2,800,000	
自主事業							
合計	192,642,307	191,612,000		188,007,940	191,112,000		500,000
指定管理業務	21,820,006	21,187,000	指定管理料 11,845,000 施設利用料等 9,342,000	25,486,134	21,187,000	指定管理 21,187,000	
自主事業 受託作業	170,822,301	170,425,000	自主事業 受託作業 170,425,000	162,521,806	169,925,000	自主事業 受託作業 169,925,000	

会 社 の 概 要

(平成28年3月31日現在)

- ① 商 号 有限会社豊田あぐりサービス
- ② 本店所在地 山口県下関市豊田町大字八道601番地3
- ③ 設立年月日 平成5年10月20日
- ④ 出資者及び資本金
- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 下 関 市 (170口) | 8,500,000円 |
| 下関農業協同組合 (120口) | 6,000,000円 |
| 株式会社 豊田ふるさとセンター
(10口) | 500,000円 |
| 新 田 正 二 (2口) | 100,000円 |
| 吉 田 太 一 (2口) | 100,000円 |
| 上 川 正 昭 (2口) | 100,000円 |
| 資 本 金 (306口) | 15,300,000円
(1口:50,000円) |
- ⑤ 取締役及び監査役
- | | |
|-------|---------|
| 代表取締役 | 上 川 正 昭 |
| 取締役 | 中 丸 徳 之 |
| 取締役 | 吉 田 太 一 |
| 監査役 | 山 名 俊 也 |

⑥ 従業員の状況

区分	従業員数 (前期比増減)	平均 年 齢	平 均 勤続年数	出 向 職員数
男性	5名 (0名)	40歳	3年	0名
女性	2名 (0名)	54歳	10年	0名
合計	7名 (0名)	44歳	5年	0名